

県産日本酒の海外販路拡大に向けたバイヤー・シェフ等招聘事業について

1 要 旨

- 本県を代表する県産品の一つである日本酒について、フランスをはじめとするEU等の海外への販路拡大につなげるため、食において世界的な影響力・発信力を有する著名レストランシェフや輸入事業者を本県に招聘し、酒造り現場の視察や食体験を通じて、県産日本酒のこだわりや特徴、歴史などの知識を深めてもらい、県産日本酒への理解促進や興味・関心の向上を図る。
- また、同時に現地メディアも招聘し、県産日本酒の魅力を効果的に発信して海外における消費者の掘り起こしにもつなげる。

2 現状・背景

- 広島県日本酒ブランド化促進協議会を設立し、県内酒造会社と連携して、現地販売代理人等の設置による小売店や星付きレストランへの営業活動の実施やプロモーション、情報発信等を通じ、フランスでのブランド化と販路拡大を図ってきた。
- その結果、フランスでの県産日本酒を取り扱う小売店舗数は平成30年度の約250店舗から令和4年度には630店舗に増加したほか、レストランでの取扱店舗数も20店舗に増加した。
- 今後、更なるワインショップなどの小売店や星付きレストランでの県産日本酒取扱店舗数の増加等による販路拡大を図ることで、フランスでの県産日本酒の認知度やブランド力を高め、それをもとに、長期的には他国への輸出拡大につなげていく必要がある。

3 招聘事業概要

- (1) 実施日時
令和6年2月19日（月）～2月21日（水）
- (2) 被招聘者
 - ・フランス及びイタリアの星付きレストランシェフ 5名
 - ・日本酒輸入事業者（営業責任者） 2名
 - ・フランスの新聞社及びアルコール飲料専門メディアの記者、ジャーナリスト 4名
- (3) 実施内容
 - ・県内各地の酒蔵等への訪問を通じて、本県ならではの酒米や水などの原材料、醸造法、歴史等、様々な視点から県産日本酒の魅力を伝える。
 - ・県産日本酒や食材を使い、県内料理人とともに県産日本酒にあった料理を作り上げることで、県産日本酒の実用性や可能性を探り、フランスやEUでの星付きレストランにおける県産日本酒の活用や普及に繋げる。
 - ・シェフ等の視察の様子などを含めて海外報道機関等が取材し、フランスやEUにおいて、県産日本酒の情報をメディア発信する。

4 今後の取組について

被招聘シェフらが経営する星付きレストランでの取扱実績を活用して県産日本酒のブランド力強化を図り、県産日本酒の輸入業者との連携を深め、EU全域への販路拡大に取り組む。

5 予算

20,000千円